



埼玉西武ライオンズ×(株)ボーネルンド 広さ 12 球団最大級！野球をテーマにした屋内あそび場 「ライオンズキッズパーク」誕生

埼玉西武ライオンズでは、4月4日（火）の2017シーズンホーム開幕戦、対オリックス・バファローズ戦（試合開始18時00分）より、メットライフドーム直結の獅子ビル2F（旧カントンテーブル）に、8歳以下のお子さまを対象とした屋内遊戯施設「ライオンズキッズパーク」をオープンします。

詳細は以下のとおりです。

【「ライオンズキッズパーク」誕生まで】

2016シーズンが終わる頃、あるお客さまから「こどもが生まれたから、来シーズンはあまり観戦に来られないかもしれない」という声を当社の女性スタッフが球場で耳にしたことがきっかけで、当施設の企画がスタートしました。「もっと気軽に子育て世代の方たちにも来場してもらえる球場にしたい」という思いから、親子で楽しめる室内あそび場「キドキド」で知られる株式会社ボーネルンドとともに、設計に取り掛かりました。

【野球をテーマにした屋内あそび場「ライオンズキッズパーク」誕生】

試合前の野球系アトラクションや、試合後のフィールドを解放した野球体験型イベントもいち早く取り入れ、ボールパーク化を推し進めるライオンズは、8歳以下を対象とした「ライオンズキッズパーク」も野球をテーマに掲げました。広さ12球団最大級の室内には、中村剛也選手と森友哉選手のストライクゾーンに向かって投げる「的当てピッチング」や、2～3歳位のお子さまを想定した遊び場は、フィールドをイメージしたデザインとしています。他にもライオンズのロゴやチームカラーをあしらったライオンズオリジナルのプレイハウスも取り揃えています。

また、乳幼児をお連れの方にも安心してご利用いただけるよう、赤ちゃん休憩室（おむつ替え台、授乳室、離乳食ルーム）を完備し、保護者の方のくつろぎの場として用意したカフェエリアスペースは、ドリンクバーが無料でご利用いただけます（キッズパーク入場は有料）。

さらに、球団マスコットの「レオ・ライナ」や公式パフォーマーの「bluelegends」が、当施設内でお子さまと一緒に楽しむ「あそび場グリーティング」も実施する予定です。



【施設概要】

施設名称：ライオンズキッズパーク

営業日：メットライフドームにて埼玉西武ライオンズが主催する1軍公式戦開催日

場 所：メットライフドーム直結 獅子ビル2F

営業時間：(平日) 試合開始2時間前～試合終了まで(もしくは試合開始4時間後まで)
(休日) 試合開始3時間前～試合終了まで(もしくは試合開始4時間後まで)

利用対象：8歳以下のお子さまとその保護者の方

※必ず保護者の方同伴でのご利用をお願いいたします。

利用料金：こども(8歳以下) 500円(税込)/60分(ドリンクバー付き)

おとな(保護者) 500円(税込)/60分(ドリンクバー付き)

※60分交代制となります。

※生後6か月以下のお子さまは無料となります。

定 員：40組程度

【的当てピッチングのデザインに起用されている中村剛也選手のコメント】

子を持つ親として、僕もこういった施設がメットライフドームに新設されることを嬉しく思います。

ぜひ家族で野球観戦に来ていただき、楽しい思い出を作ってください。



中村 剛也選手

【(株)ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国84カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千カ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国20箇所、年間273万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国約30箇所、年間300万人以上の親子が訪れています。(2016年12月1日現在)

あそびと教育



ボーンランド

【お客さまのお問合せ先】 埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター 0570-01-1950

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】(平日：10時～18時)

株式会社西武ライオンズ

広報部：三山・岡田・村石

松浦・増田・鈴木

TEL：04-2924-1154 FAX：04-2923-3089

E-mail：lionspr@seibulions.co.jp